

かごしまNIE通信

発行 鹿児島県NIE推進協議会（南日本新聞社内）〒890-8603 鹿児島市与次郎1-9-33
電話 099(813)5168 FAX 099(813)5017 メール nie-kago@373news.com

教育に新聞を



Newspaper in Education

川内中央中など新規校

「豊かな学力」目指す

平成30年度
推進協総会

鹿児島県NIE推進協議会（会長・上谷順三郎鹿児島大学教育学部教授）の2018（平成30）年度の実践校13校が、正式決定しました。新規校として谷山小学校、川内中央中学校、名瀬中学校、大口明光学園中学校の4校が加わりました。9月からすべての実践校で新聞配置が始まり、全実践校でNIE活動が本格スタートします。

鹿児島市の南日本新聞会館で5月26日総会が開かれ、実践校の教諭らが本年度の活動計画を発表しました。

2年目となる武岡中は



本年度の実践計画を発表する教師たち
＝5月26日、鹿児島市の南日本新聞会館

2018年度の実践校

【新規校】

鹿児島市谷山小
薩摩川内市川内中央中
奄美市名瀬中
私立大口明光学園中

【継続校】

霧島市国分小（4年目）
鹿屋市輝北小（3年目）
さつま町柏原小（同）
鹿児島市荒田小（2年目）
出水市大川内小（同）
南九州市川辺中（3年目）
始良市蒲生中（同）
鹿児島市武岡中（2年目）
県立鶴翔高（4年目）

「豊かな学力の定着」を目標に、社会科・国語科を中心に新聞を教材とした授業実践や帰りの学活で1分間スピーチ、朝読書でコラム読みなどに取り組みます。

「確かな学力の定着」を目標に、社会科・国語科を中心に新聞を教材とした授業実践や帰りの学活で1分間スピーチ、朝読書でコラム読みなどに取り組みます。

「豊かな学力の定着」を目標に、社会科・国語科を中心に新聞を教材とした授業実践や帰りの学活で1分間スピーチ、朝読書でコラム読みなどに取り組みます。

新規校からひとこと

☆谷山小・立和田大樹教諭
自分自身、NIEは初めてだが、研修を通して教育に新聞が有効だと実感している。各学年、学校全体に広げていきたい。

☆名瀬中・大脇輝希教諭
これまでスクラップや読み比べなどに取り組んできた。先進校の取り組みを積極的に取り入れながら生徒の学力向上につなげたい。

「新聞に慣れ親しませたい」

☆川内中央中・工藤憲孝教諭
これまで単発的にNIEをやってきたが、長期計画で取り組むのは初めて。身近なニュースが載っている新聞には生徒も親しみやすいと考える。

☆大口明光学園中・知念禎教諭
まず生徒たちに新聞に慣れ親しんでもらうことに力を入れたい。2年目から本格実践に取り組みたい。

NIEカリキュラム化を

鹿児島県NIE推進協議会総会で、鹿児島大学教職大学院の溝口和宏教授が「新学習指導要領がNIEを考える」と題して講演しました。要旨を紹介いたします。



新学習指導要領は新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指して、

「聞く」「書く」「読む」ことに関連して登場。社会科では小学校から高校まで、情報を集め読み取り、まとめる技能を培うものとして出てくる。

新学習指導要領に向けてNIEをカリキュラム化し組織的に進めていくことが重要になる。新聞を継続的に活用し、どう使えばどんな力がつくか、子どもの姿をとらえ

て教育課程を編成、実施し、方法論などを習熟させていくことが必要だ。

溝口教授らが中心になり、11月に日本NIE学会が鹿児島大学で開催されます。全国から研究者、教員が集まります。みなさんも参加しませんか。

日本NIE学会鹿児島大会

テーマ
「資質・能力の育成とNIE」
11月24日（土）、25日（日）
鹿児島大学共通教育棟1号館
参加費 2500円、当日3000円
nie15kagoshima@gmail.com

